



雪印メグミルク

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年11月9日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡邊 健太郎 TEL 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	314,035	0.8	11,088	4.2	11,980	2.1	7,193	△6.6
2020年3月期第2四半期	311,625	2.0	10,637	10.9	11,733	14.4	7,703	20.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 9,545百万円 (16.3%) 2020年3月期第2四半期 8,210百万円 (18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	106.34	—
2020年3月期第2四半期	113.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	390,656	184,539	46.5	2,689.00
2020年3月期	370,434	178,094	47.3	2,586.86

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 181,600百万円 2020年3月期 175,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	1.1	19,000	5.6	20,500	4.2	13,000	6.9	192.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	70,751,855株	2020年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,217,410株	2020年3月期	3,058,747株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	67,647,671株	2020年3月期2Q	67,699,430株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

当社は、2020年11月9日（月）にアナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

(補足説明資料)

2021年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止と社会経済活動の両立に取り組む中で、一部に持ち直しの動きもみられております。

先行きについては、楽観視できない状況が続くと思われ、国内外の感染症拡大や経済の動向に注視する必要があります。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響による消費者マインドの悪化とともに急速に減少しましたが、社会経済活動が段階的に引き上げられたことにより、徐々に持ち直しているものとみられます。

食品業界においては、未だ新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、小売業では外出自粛に伴う巣ごもり消費を取り込むことで拡大した売上の伸びも緩やかとなり、また飲食業では、行政をはじめ様々な対策が講じられているものの回復には遠く、総じてみれば持ち直しに向けた動きは鈍い状況にあります。

このような経営環境下、当社グループは新たに策定した「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野（乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野）における収益基盤の確立」に向けた取り組みを進めました。この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大に伴うプロダクトミックスの更なる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益獲得の両立、種苗事業における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源やバリューチェーンの活用拡大によるグループ総合力の強化等に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の従業員への感染防止に取り組み、お客様へ安全で安心して頂ける商品の安定供給に努めました。その他、学校給食の休止や外食需要の減退に伴い牛乳などの需要が大幅に減少する中で、生乳廃棄の回避に向け需給調整機能を果たすべく生乳処理に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は314,035百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は11,088百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は11,980百万円（前年同期比2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,193百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は129,848百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は6,567百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により内食需要は高まる一方、外食需要は落ち込むなど、販売チャネルごとに影響が生じております。

このような中、バターは安定供給に引き続き努めたことから堅調に推移しました。

油脂は家庭用市場がこれまでの縮小傾向から拡大に転じたこと、新しい食べ方提案等のプロモーション活動を展開した効果などから増収となりました。

チーズはTVCM等のプロモーション活動の効果や、内食需要の高まりにより家庭用市場が伸長したことなどから増収となりました。

機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、新型コロナウイルス感染症による外食需要の減退があったものの、家庭用商品における販売物量の増加、固定経費の減少などから増益となりました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は143,427百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は2,763百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

売上高は、飲料は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた休校措置に伴う学校給食の休止や、外出自粛などを背景とした消費動向の変化の影響などを受け減収となりました。

ヨーグルトにおいても消費動向の変化の影響などを受け、プレーンヨーグルトなどの商品は堅調に推移したものの、機能訴求型商品の「ガセリ菌SP株」や「乳酸菌ヘルベ」ヨーグルトはプロモーション活動を展開しましたが減収となりました。

デザートは新商品の発売等、商品力の強化に取り組んだこと、巣ごもり消費の拡大に伴い市場が伸長したことなどから好調に推移しました。これらの結果、当セグメント全体では減収となりました。

営業利益は、宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果はあったものの、新型コロナウイルス感染症による消費動向の変化の影響を受け販売量が減少したこと、オペレーションコストが増加したことなどから減益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。売上高は22,562百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は1,239百万円（前年同期比8.6%増）となりました。売上高は、牧草・飼料作物種子および飼料の販売物量減少などにより当セグメント全体で減収となりました。一方で、営業利益は、固定経費の減少などにより増益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。売上高は18,197百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は649百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して20,222百万円の増加となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金や投資有価証券、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が増加したことなどによります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して13,777百万円の増加となりました。

これは主に、長期借入金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して6,444百万円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、17,272百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9,694百万円の収入（前年同期は13,639百万円の収入）となりました。

前年同期との比較では、主に仕入債務の増加により支出が減少した一方で、売上債権の増加により収入が減少したことなどにより、3,945百万円の収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、15,795百万円の支出（前年同期は9,924百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、5,870百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,852百万円の収入（前年同期は5,211百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、主に長期借入れによる収入が増加したことなどにより、13,064百万円の収入増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月13日の決算短信にて公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,536	17,287
受取手形及び売掛金	71,880	76,410
商品及び製品	42,998	44,494
仕掛品	1,044	1,099
原材料及び貯蔵品	14,954	15,133
その他	5,183	6,075
貸倒引当金	△410	△391
流動資産合計	151,187	160,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,497	47,234
機械装置及び運搬具(純額)	54,136	54,578
土地	49,910	49,688
その他(純額)	20,487	26,989
有形固定資産合計	171,031	178,491
無形固定資産		
のれん	719	649
その他	3,007	2,914
無形固定資産合計	3,727	3,564
投資その他の資産		
投資有価証券	34,807	38,326
繰延税金資産	3,006	3,026
その他	6,928	7,380
貸倒引当金	△255	△243
投資その他の資産合計	44,487	48,490
固定資産合計	219,246	230,546
資産合計	370,434	390,656

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,354	55,563
電子記録債務	5,436	4,915
短期借入金	18,140	17,295
未払法人税等	3,740	3,479
賞与引当金	5,212	5,067
その他	32,435	34,488
流動負債合計	120,319	120,809
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	35,129	47,364
繰延税金負債	858	2,043
再評価に係る繰延税金負債	3,959	3,898
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	79	73
退職給付に係る負債	10,017	10,223
資産除去債務	1,298	1,369
その他	10,656	10,315
固定負債合計	72,019	85,307
負債合計	192,339	206,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,606	17,607
利益剰余金	125,489	130,113
自己株式	△4,961	△5,351
株主資本合計	158,134	162,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,747	12,940
繰延ヘッジ損益	△88	△91
土地再評価差額金	8,815	8,677
為替換算調整勘定	△142	△260
退職給付に係る調整累計額	△2,354	△2,034
その他の包括利益累計額合計	16,977	19,230
非支配株主持分	2,982	2,939
純資産合計	178,094	184,539
負債純資産合計	370,434	390,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	311,625	314,035
売上原価	237,539	241,314
売上総利益	74,085	72,721
販売費及び一般管理費	63,448	61,633
営業利益	10,637	11,088
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	410	392
持分法による投資利益	582	587
その他	570	499
営業外収益合計	1,568	1,483
営業外費用		
支払利息	154	200
その他	318	391
営業外費用合計	472	591
経常利益	11,733	11,980
特別利益		
固定資産売却益	8	8
その他	0	—
特別利益合計	8	8
特別損失		
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	622	602
減損損失	162	651
その他	57	230
特別損失合計	843	1,492
税金等調整前四半期純利益	10,897	10,496
法人税等	3,067	3,325
四半期純利益	7,830	7,171
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	126	△22
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,703	7,193

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,830	7,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	290	2,057
繰延ヘッジ損益	△16	△2
為替換算調整勘定	△72	△131
退職給付に係る調整額	187	316
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	133
その他の包括利益合計	380	2,373
四半期包括利益	8,210	9,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,072	9,585
非支配株主に係る四半期包括利益	138	△40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,897	10,496
減価償却費	8,095	7,975
減損損失	162	651
持分法による投資損益(△は益)	△582	△587
のれん償却額	47	43
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	100	△145
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△0	△291
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△59	550
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△4	△6
固定資産除売却損益(△は益)	615	601
受取利息及び受取配当金	△415	△396
支払利息	154	200
売上債権の増減額(△は増加)	△512	△4,876
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,700	△1,775
仕入債務の増減額(△は減少)	△817	476
その他	△998	△37
小計	14,954	12,847
利息及び配当金の受取額	473	496
利息の支払額	△195	△182
法人税等の支払額	△1,593	△3,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,639	9,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2
貸付けによる支出	△28	△142
貸付金の回収による収入	24	92
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,924	△15,665
有形及び無形固定資産の売却による収入	94	30
投資有価証券の取得による支出	△105	△10
その他	15	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,924	△15,795

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8	10
長期借入れによる収入	—	12,500
長期借入金の返済による支出	△2,152	△1,120
自己株式の取得による支出	△5	△390
配当金の支払額	△2,705	△2,702
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△354	△440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,211	7,852
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,533	1,748
現金及び現金同等物の期首残高	14,303	15,524
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	168	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,938	17,272

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	122,034	147,246	23,882	293,163	18,461	311,625	—	311,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,378	51	474	6,905	6,285	13,190	△13,190	—
計	128,412	147,298	24,357	300,068	24,747	324,815	△13,190	311,625
セグメント利益	5,209	3,557	1,140	9,907	709	10,616	20	10,637

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 20百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	129,848	143,427	22,562	295,838	18,197	314,035	—	314,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,196	55	395	6,647	7,253	13,900	△13,900	—
計	136,044	143,482	22,957	302,485	25,451	327,936	△13,900	314,035
セグメント利益	6,567	2,763	1,239	10,570	649	11,220	△132	11,088

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 △132百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。